NTS物語

❸ ビジネスモデルの確立へ向けて（第20回）

3－1編集企画体制への道（2）

出版事業②「資料集」を作る（下）フットワークとデスクワークの日々（前）

代表取締役　吉田　隆

フジテク在職中の5年間に、10冊ほどの資料集を手がけた。手がけた資料集は全てヒットセミナーをテーマに選んだ。当時は、ライバル企業も今以上に数多く、トピックとなるテーマの一番乗りにしのぎを削り、企画スタッフは毎日外に出て市場調査や取材を重ねることに力を入れた。しかし、資料集を数冊抱えるようになると、そうした現場志向型の仕事スタイルに変化が生じた。著者から届く原稿の処理のために、机に向かう機会が増えたのである。特に、ある一時期は会社の方針で、自分の本の制作を自分で行なうこともあった。こうなると、フットワークの良さが命の企画スタッフは、デスクワークとの間でジレンマを抱えることになる。

●ジャーナリストの端くれだゾ!

フジテクの小野社長は、社内で落ち着くことの少ない人だったが、しばしば机に向い、届けられた原稿に目を通していた。しかし、手を入れることはなく、ただ何が書いてあるかを確かめていたのである。「この原稿は面白いぞ!」と嬉しそうに声をかけて来たものである。原稿の品質を確保するための編集制作業務は当時、理工系に明るい職人肌のヤギ工房の○○○○さんや、エディポック社の○○○○○○氏等いわゆるプロダクションに外注していた。小野社長は、「俺たちはジャーナリストの端くれだゾ!」としばしば口にしたように、自分の仕事を経済、技術などの時事情報を伝達する新聞・雑誌事業に類するものと見なし、企画業を記者に近い業務と位置付け、編集制作業務とは切り離して考えていたようだ。フジテクなどの情報出版社のルーツが、丸善や紀伊國屋などの近代出版社ではなく、昭和30年ごろの日刊工業新聞社のセミナー事業への本格的進出に端を発していることと無縁ではない。実際、当時の小野社長は、事務機器新聞社編集部の○○○○氏やガス経済社主幹の○○○○○氏等の記者からたたき上げた人たちとの交流を貴重な情報源としていた。

●出版人たるもの!

だが、私の入社3年目ごろ転機があった。ある日突然、小野社長が「出版人たるもの原稿整理くらい身につけろ!」と、自分の本の編集制作の一部を外注から内製に切り替えたのである。○○氏を講師に、G体、M体、上付き、下付き、ポ数などの原稿整理の勉強会を開催した。それから原稿に向かう日々が始まった。しかし、この試みは長続きせず、ほどなく元の全面外注に戻ることになった。ただでさえ、進行管理に時間を奪われるのである。そこに、原稿整理が加わると現場取材どころではなくなる。デスクワークのために、肝心のフットワークが全く生かせなくなったのである。当時、○○氏が体調を崩し、外注の手が足りなくなったという事情もあったようだが、先の二つの言葉を比べた時、私が入社後の3年は小野社長の意識の中で、ジャーナリストと出版人との間の、一種のアイデンティティーの葛藤の時期であったのかも知れない。昭和57年当時は、書籍の売上げが急増し、フジテクがセミナー屋から出版社へと脱皮する時期でもあった。しかし、私自身にとって短期間とはいえ原稿整理を学んだことは、版面の把握だけでなく採算性のチェックなどその後の本作りに非常に役に立ったように思う。○○氏の後、フジテクの書籍の編集制作を外注として引き継いだのは○○○○氏（現、オフィス東和代表取締役）だった。しかし、昭和60年以降、電話営業を開始し更に専門性の高いハンドブック形式の本作りを手がけるようになると、フジテクでは二名の編集制作専門スタッフを採用するとともに、外注を徐々に内製に切り替え、企画に専念できる体制を整えていった。

●商品開発者の目

上述の通り、そもそも資料集の原稿に係わる編集制作業務は、完全外注方式を採用していた。即ち企画スタッフは、内容や表現など夫々の視点で届いた原稿に目を通しはするが、基本的には内容に手を入れるところまではしない。ただし、これからは商品性を問われる時代である。資料集の担当者といえども、自ら手がける本に対し、企画者としての目と商品開発者としての目とを合わせ持つ必要がある。その時、企画スタッフは編集制作業務に対し、どのように取り組みどのように距離を取ればいいのか?

次回は、この辺りの事情にふれてみたい。

◉今月の人事

【入社】

【退社】

【異動】

◉編集後記

体脂肪が気になる人に、緑茶「ヘルシア」が売れています。それと同じように、NTSの本も多くの方々に読まれて欲しいと、切実に思っています。今月末には、「高分子化学入門」等の新刊を発行しますので、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。（K）

◉編集部からのお願い

NTSニュースでは読者の皆様からのお便りや投稿をお待ちしております。また、開催予定の勉強会・イベント等、掲載をご希望される方は下記宛までご連絡ください。

NTSニュース

2003年8月号（通巻54号）
2003年7月25日発行